



PHOTON BEAM®

2023



秒速生命エネルギーチャージ



税込330万円

世界最速をあなたへ

世界に類のない※発明装置

PHOTON BEAM® ※特願2022-071221

生命にとって太陽光の一番重要な

光だけを発し、水へ、生命へ

秒単位の速さでエネルギー補充します

光が水を秒速で変えます

生命は水 水は生命 全ての生命に

秒速エネルギーチャージ



α 線 + α

太陽なく生命は存在できないでしょう

しかし太陽光には紫外線もあります

残念ながら紫外線は多くの生命にとって過酷な

可視光を超えた光です

フォトンビーム®は紫外線のない通過する直線

放射のないアルファ線 + α の光子を※8倍発射します

※太陽光は12万lx フォトンビーム®は100万lx



PHOTON BEAM®

とは光子発生装置であり
酸化還元装置です

電子

をペア化し
束になって
発射する装置です

水
を

秒速で酸化還元させます

ミトコンドリアを
数秒で

40
億倍

活性化

させました



ミトコンドリアは生命活動のエネルギー源

老化はミトコンドリアが体からさようなら

することが原因といわれています

ミトコンドリアは人間の体積の10%を占め

真核細胞がある全ての細胞と電子伝達しています

ミトコンドリアの燃料は電子

次ページにてフォトンビーム®照射後

植物ミトコンドリアの活性化を証明します

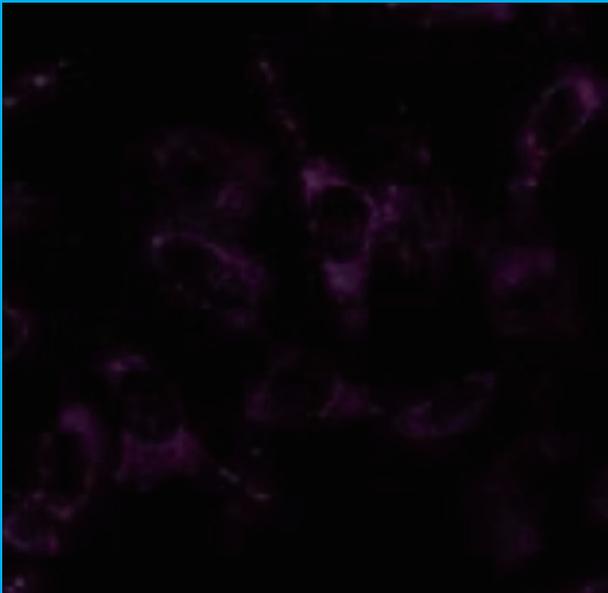
照射前



ミトコンドリア活性の検体として萎れた菊の花のミトコンドリアを選択。培養液として水とケイ素を使用しPHOTON BEAM®を照射。ミトコンドリアが活性化したことを可視光光学顕微鏡(Si-DMA)により確認した。

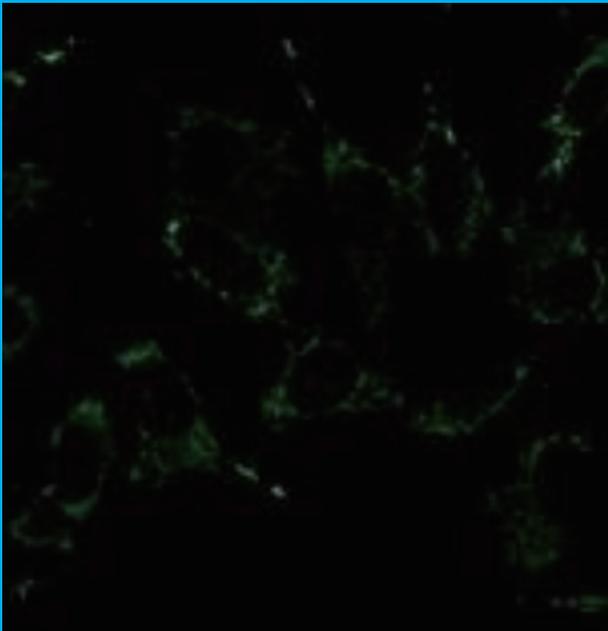
リンと炭素原子によって構造強化された蛍光色素骨格は極めて高い耐光性を持っているのでミトコンドリアを光学顕微鏡によって観測するため蛍光標識薬としてケイ素を使用した。

照射1回



フィルター;励起波長/蛍光波長
Si-DMA;600±25nm/685±25nm

照射2回



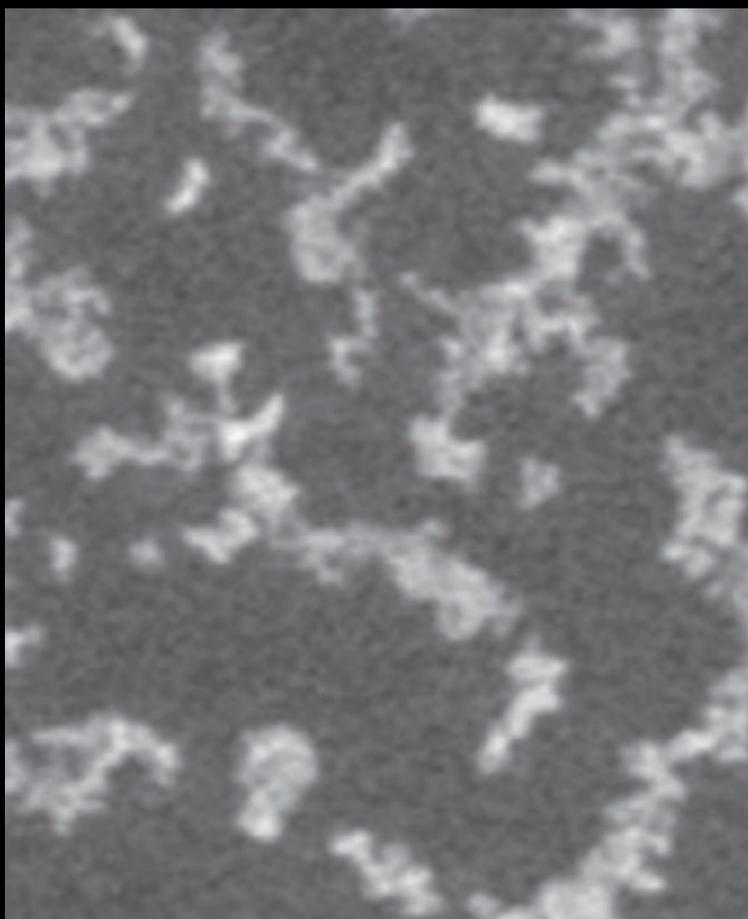
・照射回数により植物ミトコンドリアが増える（活性する）ことを確認

・10回照射後増加傾向はない

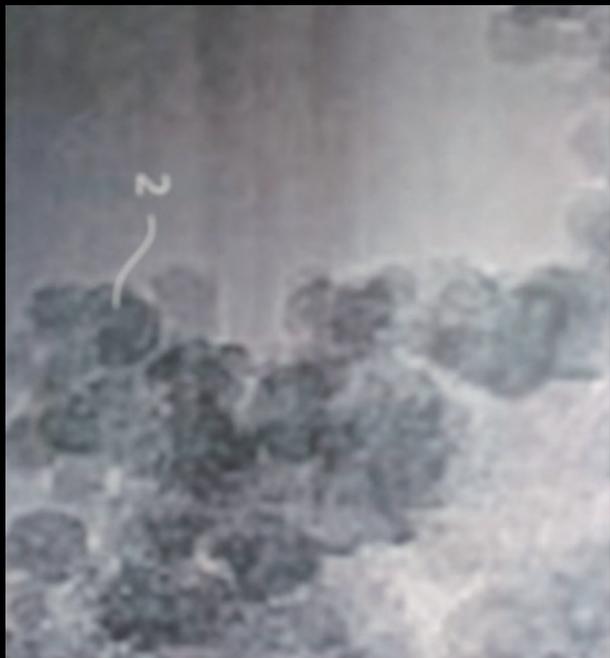
・個体数で約40億倍増加

・ミトコンドリアは動植物全て同じ

フォトンビーム®照射前



↓照射後観察



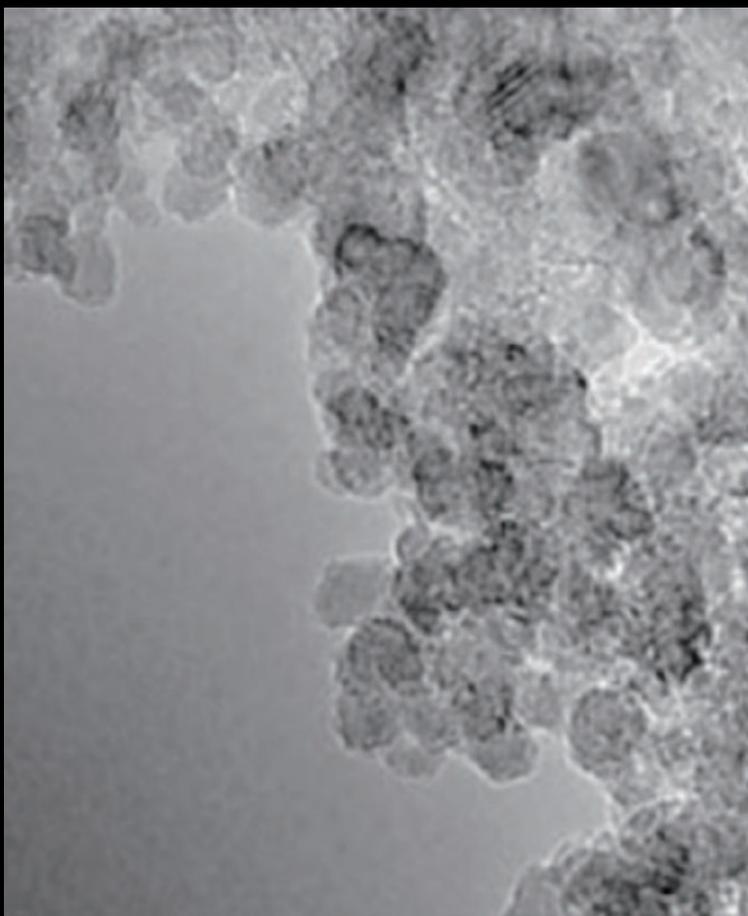
フォトンビーム®を照射した水と照射していない水をシャーレに0.1cc入れ、ミトコンドリアが活性化したことを可視光光学顕微鏡により確認した。

約40億倍のミトコンドリアが発生しており、フォトンビーム®はミトコンドリアが活性化する効果があることを確認した。

しかし量は体積法で判断しており、フォトンビーム®を照射したことでミトコンドリアが必要とする水素イオンが形成され増えた可能性があるが、増えたという表現ではなく、活性化したという表現が適当と思われる。

またミトコンドリアの活性化に伴うATP化合物の放出を促進させていることも考えられる。

フォトンビーム®照射後



フォトンビーム®照射あり



ミトコンドリアが
電子を受け取ると
還元

若々しさの原理

フォトンビーム®照射なし



ミトコンドリアが
電子を奪われると
酸化・劣化

老化の原理

生命全てにミトコンドリアがあります

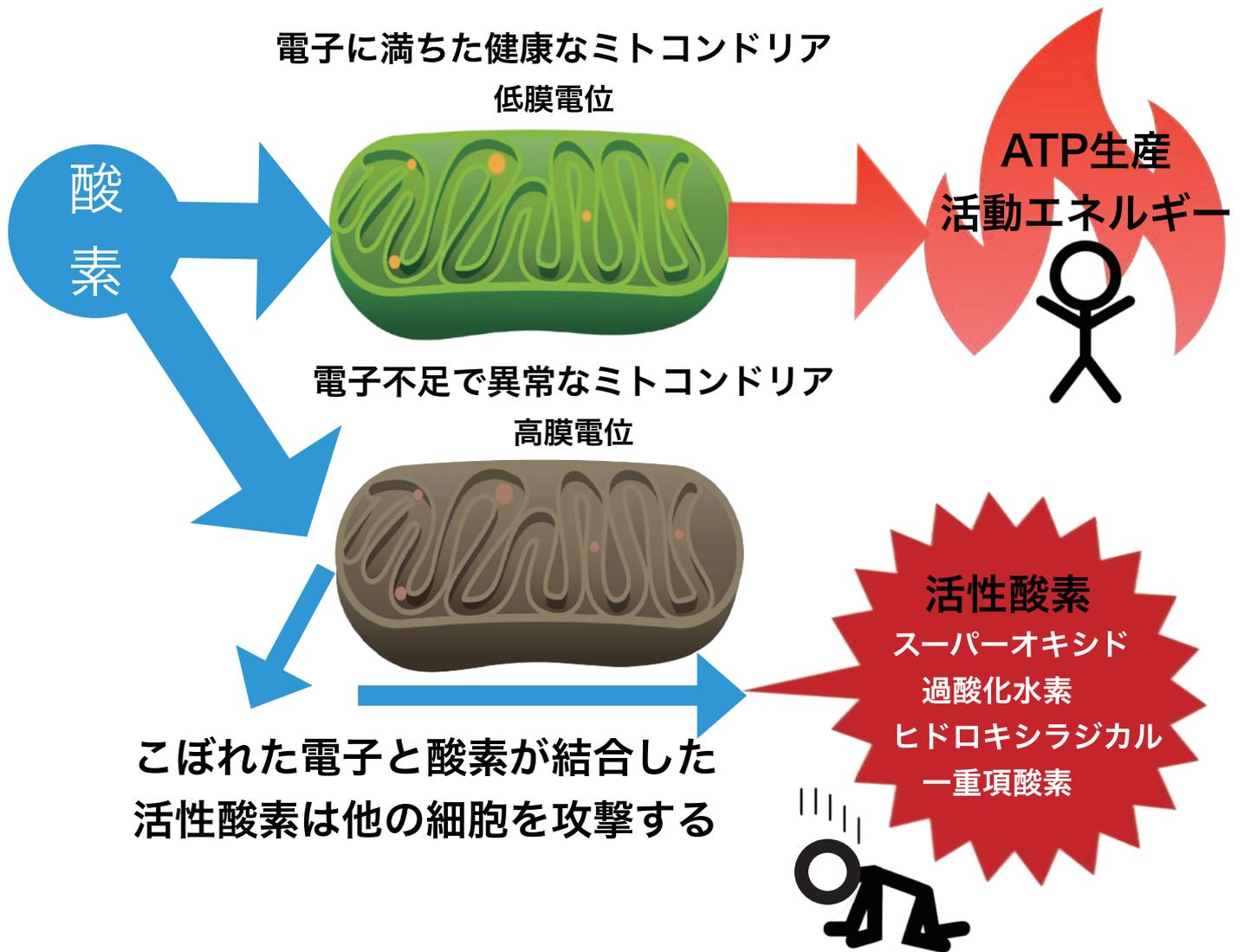
同個体のリンゴを半分に切断してのPHOTON BEAM®照射実験。
カット面に照射と未照射でラップをして冷蔵庫に保存し翌日撮影。

(糖質の多いリンゴは酸化が早く、同一個体での実験に適している。)

照射にて酸化を遅らせたことが実験で明らかになりました。

糖質の多い肉体にも同様のことがいえるのではないかと？

なぜならミトコンドリアの役目は人も果物も全生物同じだからです。



真核細胞のある全ての細胞にエネルギー代謝の中樞を担うミトコンドリアが分布しています。ヒトの体重比率で1割を占めるミトコンドリアは、酸素を利用して必要なエネルギーを作ります。

細胞の核膜が崩壊すると活性酸素が漏れ出て他の細胞を攻撃します。

私たちの体内のミトコンドリアはエネルギー生産の副産物として活性酸素を生み、その量は加齢とともに増加します。加齢していてもミトコンドリアが元気であれば活性酸素を防御できるのです。

ミトコンドリアの活動に必要なのは究極電子といって過言ではありません。

では電子をどうやって補うのか？

PHOTON BEAM®であれば無痛無害、わずか数秒間で電子を補給します。

PHOTON BEAM®

照射でミトコンドリアが
活性するならば

電子を受け取ったことになります

水も電子を受け取れば
水素と結合します

電子を多く含んだ水は溶存水素水となり
本物の水素水となります

PHOTON BEAM®開発者小川陽吉は「水中の溶存水素測定法」で特許公開
特開2018-179830(P2018-179830A) 2023年新たな方法で公開予定です。

本物の水素水とはH₂O以上にH(水素)
がO(酸素)と結合した状態を指します

水道水に照射して
LED が点灯

ミトコンドリアは電子を奪われれば劣化し、細胞ネットワークが崩壊します

逆に電子を受け取れば細胞ネットワークは形成されます

PHOTON BEAM®の電気信号が電圧を生じさせるか？

フェルミエネルギーという電子が詰まった状態の電気信号となり、エネルギーとなり、水を高エネルギー水に変化させました

わずか数秒で水道水が一時的に電池になりました

自社実験ですが、水が電子を受け取った証拠です



設営

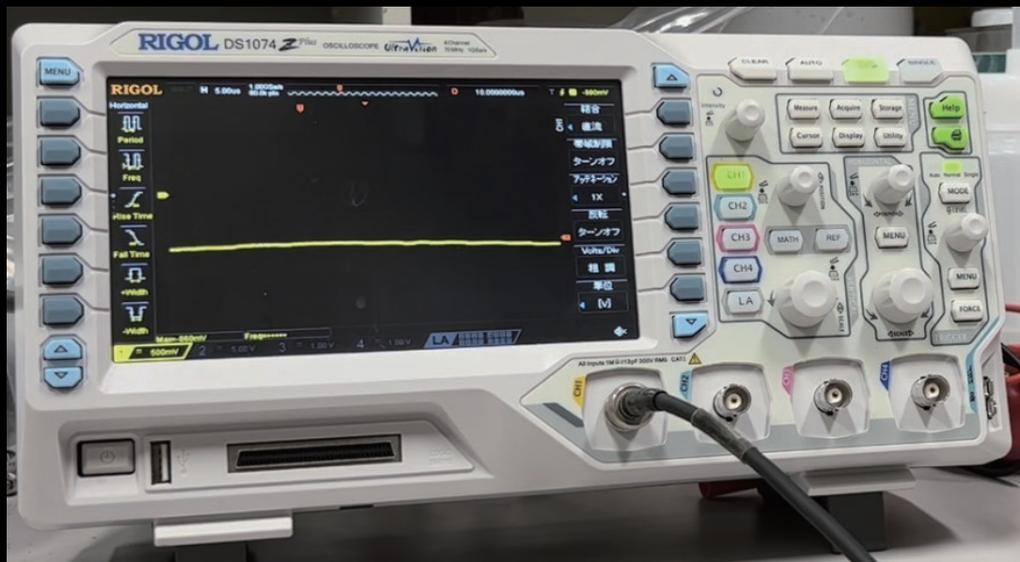


拡大



拡大（7秒間点灯）

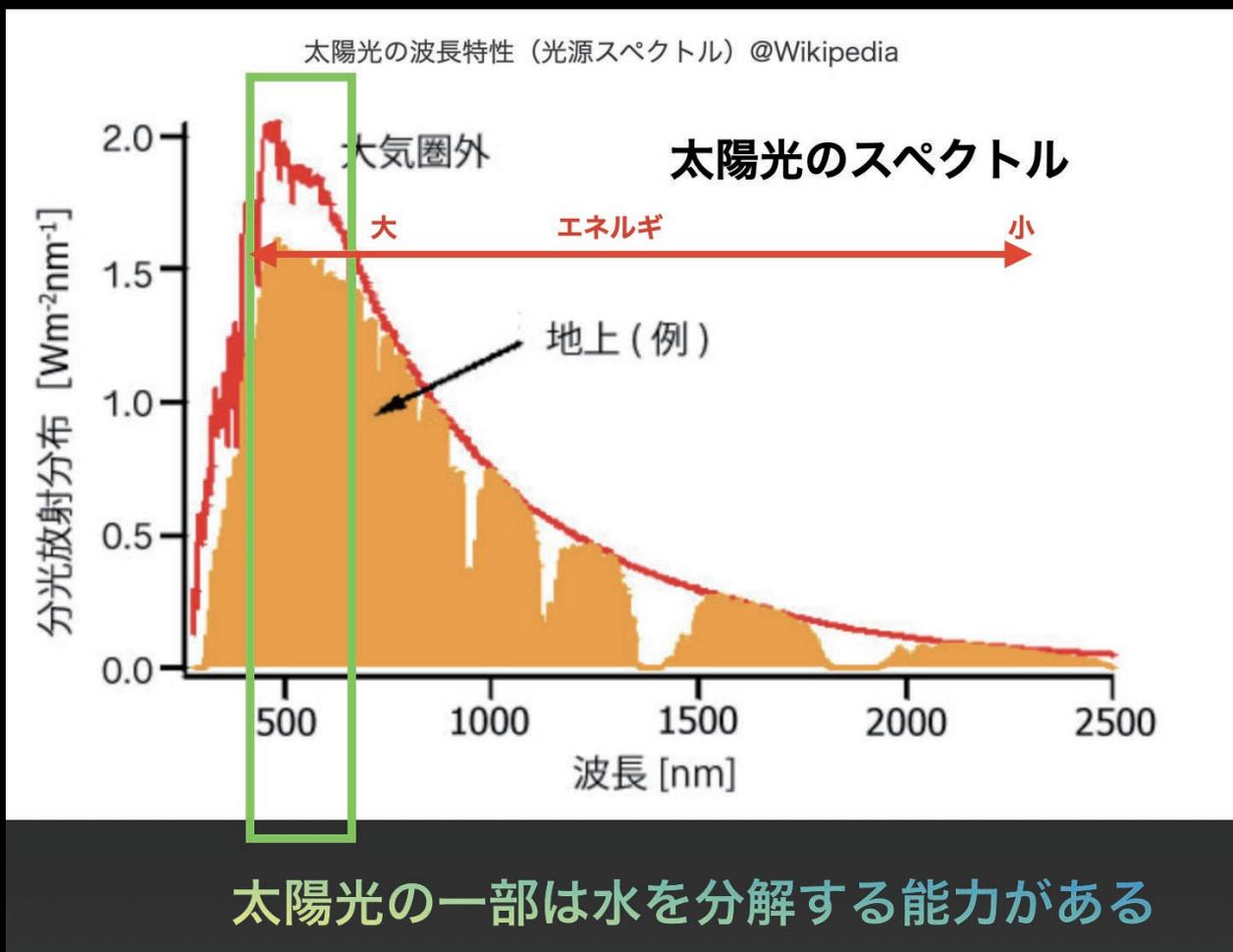
PHOTON BEAM®の電気 信号がエネルギーであることを 東京工業大学でも確認



電気が電気信号になるためには電子が
詰まった状態でなくてはならない。

2022年9月28日 PHOTON BEAM®が
空気、水中関係なく電圧を生じさせたことを
東京工業大学高橋研究室の実験で確認され
後日報告書として弊社へ提出されました。





家庭用浄水器や活水器は数多くのメーカーが多様な製品を販売しています。装置のメカニズムは、電気分解（電解）、磁力、鉱石、音波・超音波、またはそれらの組み合わせのいずれかです。さらにカートリッジなどでナトリウム還元などの水に触媒を与えているものも多種多様に存在しています。

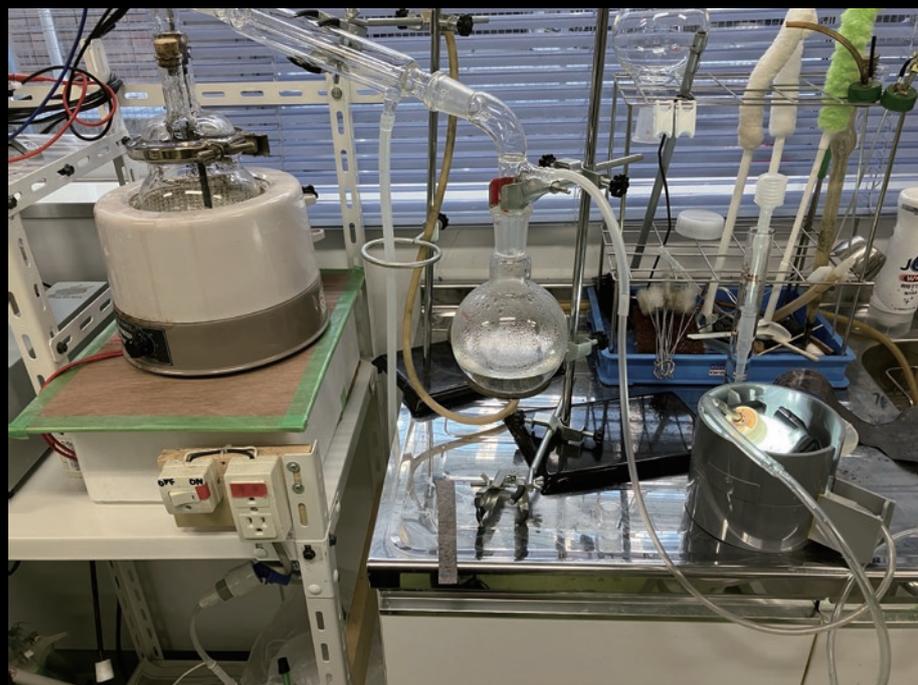
弊社は2023年、水の活水に新しい方法を加えました。光

PHOTON BEAM®は水の活水器の歴史に光を加えました。水への触媒不要です。水道水が酸素還元されます。

競合製品はありません。全ての活性水に対してさらに電子を与えることが可能です。従って他社製品を何ひとつ比較することなく他社の活水をパワーアップするので、他社と共存できる装置なのです。

PHOTON BEAM® は秒で水を活水化させます

光で水素を取り出す実験を行なった



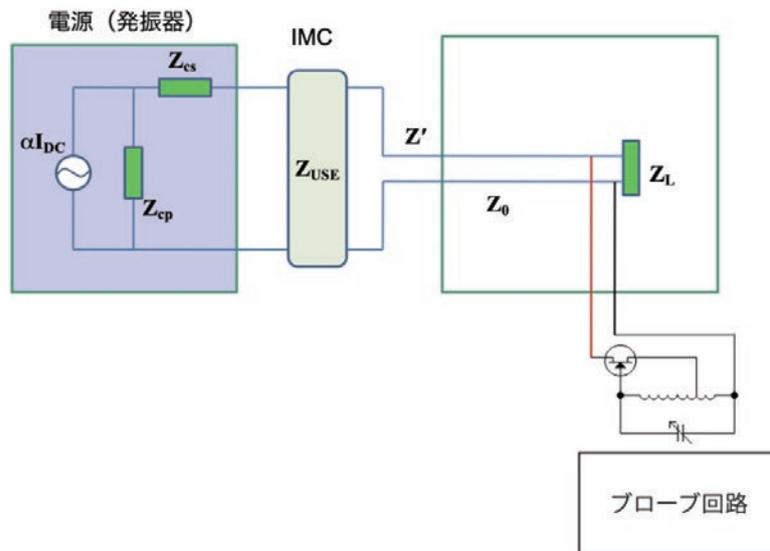
水道水へ不快なほど明るいグレア発生のLED電球を入れて水素発生を確認。実験当時は水道水が光で水素を取り出せるかを課題としました。水道水とただ明るいだけの光では水素は発生せず、水へ珪素や酸化チタンなど触媒を添加しました。その後、フォトンビーム®でたったひとつしかない特許申請中の光の、いや、光子の周波数を発見し、触媒なしで水と新たな水素を結合させることに成功しました。将来PHOTON BEAM®のメカニズムが大型化されれば、マグネシウムなども使わず、光だけで水素燃料を作ることが可能になるかもしれませんが、これは参考であり、お伝えしたいことのポイントは水のイオン化であり、PHOTON BEAM®照射だけでイオン化が可能だということです。

PHOTON BEAM® 照射は束状の電子を与え水触媒不要で

どんな水でも高濃度水素水 $H_2 + \frac{1}{2}O$ にします

水素 より水素と酸素を繋ぐ **電子が偉い**

PHOTON BEAM® は 超伝導付近の光の周波数を発射する 光子=電子ニュートリノ論



▼ 数理モデル

§2, Theoretical Equation for Carrier Line(cf. Figure 2).

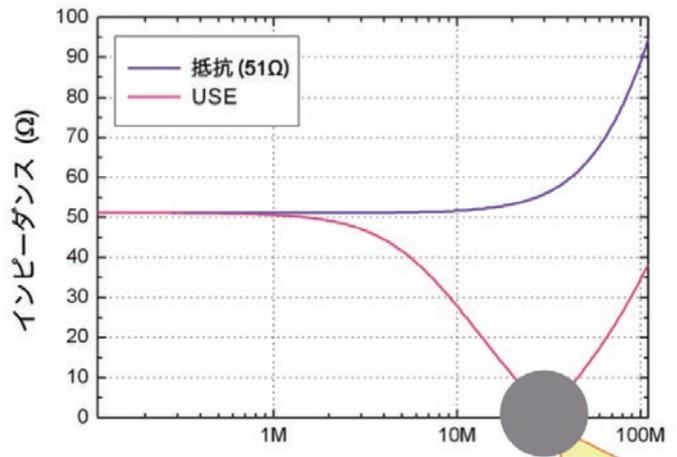
In our theory, we consider the voltage between the two vertices of the red segment on two rhombs is only induced by the magnetic field on the two triangular domains surrounded by the black arrows and on the four triangular domains surrounded by the blue arrows.

We put $n = 0, 1, \dots, N - 4$. In view of the voltage between the vertices of the $(n + 2)$ -th and $(n + 3)$ -th rhombs (namely, between the vertices of the red arrows), we have

$$\begin{aligned}
 (0) \quad & \bar{R}(\omega) \cdot (\Delta I_{n+2}(t) + \Delta I_{n+3}(t)) = \\
 & -L_2 \cdot \frac{\partial}{\partial t} ((I(t) + \Delta I_{n+2}(t) + J_{n+2}(t)) + (I(t) + \Delta I_{n+3}(t) + J_{n+2}(t)) + (\sigma_0 \cdot (I + \Delta I_N + J_{n+2}(t)))) \\
 & -L_1 \cdot \frac{\partial}{\partial t} ((I(t) + \Delta I_{n+1}(t) + J_{n+1}(t)) + (I + \Delta I_{n+2}(t) + J_{n+1}(t)) + (\sigma_0)(I + \Delta I_N(t) + J_{n+1}(t))) \\
 & -L_1 \cdot \frac{\partial}{\partial t} ((I(t) + \Delta I_{n+3}(t) + J_{n+3}(t)) + (I + \Delta I_{n+4}(t) + J_{n+3}(t)) + (\sigma_0)(I + \Delta I_N(t) + J_{n+3}(t))).
 \end{aligned}$$

where each term on the right hand side is the voltage induced by the $(n+i)$ -th triangles. We arrange the above equation and then we have for $n = 0, 1, \dots, N - (M + 2)$,

$$\begin{aligned}
 (1) \quad & \bar{R}(\omega) \cdot (\Delta I_{n+2}(t) + \Delta I_{n+3}(t)) \\
 & = -L_2 \cdot \frac{\partial}{\partial t} (\sigma \cdot I + (\sigma - 2) \cdot \Delta I_N + \sigma \cdot J_{n+2}(t) + \Delta I_{n+2}(t) + \Delta I_{n+3}(t)) \\
 & -L_1 \cdot \frac{\partial}{\partial t} (2\sigma \cdot I + 2(\sigma - 2) \cdot \Delta I_N + \sigma(J_{n+1}(t) + J_{n+3}(t)) \\
 & + (\Delta I_{n+1}(t) + \Delta I_{n+2}(t) + \Delta I_{n+3}(t) + \Delta I_{n+4}(t))).
 \end{aligned}$$



※特許申請中につき、超伝導抵抗と周波数は非公開

内部スーパーナノテクノロジー・非共鳴加工により模造不可能

電子は光子に導かれる
光子の定義を変えるであろう発明

2021.12
テスト機完成



安定したテスト機完成
計測器も積載

2022.5
テスト3号機



特許申請後、テスト3号機を
世界天才会議へ出展。銀賞受賞

2022.11
初号機限定生産



初号機30台限定生産。医師らに
支持されすぐに完売。その後多
くの予約があった。



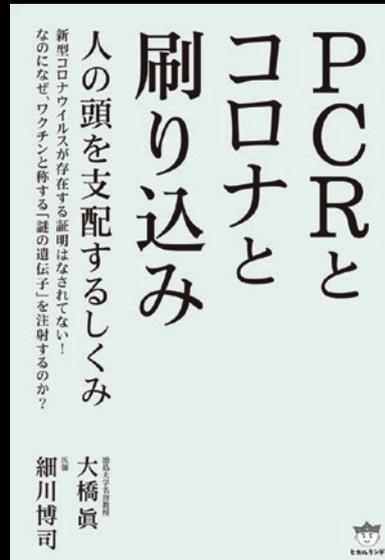
2023.6 2回目ロットでフルモデルチェンジ



人体への影響はPHOTON BEAM®のメーカーとして公表できません。弊社主宰のオンラインフォーラム、RIFE.ONLINE®にてご確認ください。
PHOTON BEAM®を使用中で著作のある医師をここでご紹介します。



メディアートクリニック
前山和宏 院長 / 医師
フォトンビーム® 試作機
からテストに参加
初号機所有



一番街診療所
細川博司 院長 / 医師・医学博士
フォトンビーム® 初号機
所有



福田内科クリニック
福田克彦 副院長 / 医師・医学博士
フォトンビーム® 2回目
ロット所有



みやの歯科医院
宮野敬士 院長 / 歯科医師・歯科技工士
フォトンビーム® 初号機
所有



ほんべ眼科・統合医療科
本部千博 院長 / 医師
フォトンビーム® 初号機
所有

RIFE.ONLINE®

その他多くの医師、歯科医師、柔道整復師、鍼灸師、美容サロンが導入。PHOTON BEAM® 導入一覧や体験談や動画は全て非営利会員制フォーラム内にて

2023年5年目で会員数5000名。
<https://rife.online/>

会員登録はこちら



